

要 望 書

令和2年9月18日

東京都知事 小池 百合子 殿

東京都ホテル旅館生活衛生同業組合

理事長 工藤 哲夫



平素より、当組合の事業運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、都内宿泊施設はこれまでにない苦境に立たされております。

こうした中、来月から「G o T o トラベルキャンペーン」に東京が追加される見込みとなったことも踏まえ、当組合として感染防止対策の徹底などに一層取り組んでいく所存ではありますが、あわせて都の支援をお願いしたく、以下のとおり要望いたします。

- 1 新型コロナウイルス感染症に伴う風評被害を払しょくするため、東京が安全な観光地であることを都内外に向けてPRするよう要望します。

「G o T o トラベルキャンペーン」開始時に東京が除外されたことなどの影響により、都内の宿泊施設が感染防止対策の徹底に取り組んでいるにもかかわらず、東京が危険な地域であるかのような見方が広がっています。また、最近発表された著名芸能人のコンサートが残念ながら無観客での開催になるなど、イベントによる集客やそれに伴う宿泊が進んでいない状況です。このままでは、今後、「G o T o トラベルキャンペーン」に東京が追加されたとしても、都外からの観光の後押しとなるのか不透明な状況です。こうした空気感を払しょくするため、様々な場面において、東京が安全な観光地であることのPRに取り組むよう要望します。

- 2 都民に対し、魅力ある東京を再認識していただく施策の実施を要望します。

横浜市は市内のホテルをネット予約した観光客に市が独自のクーポンを付与するキャンペーンを実施しています。厚木市では市内の対象旅館に宿泊する方に1泊あたり5,000円分、ホテルに宿泊する方に1名あたり1,000円分の「あつぎ観光クーポン券」を進呈しています。これらは「G o T o トラベルキャンペーン」との併用が可能です。東京都におきましても、5,000円程度の割引補助がある事業を実施し、東京都の宿泊業活性化を図るよう要望します。

3 「G o T o トラベルキャンペーン」終了後の引き続きの支援を要望します。

今後、「G o T o トラベルキャンペーン」に東京が追加されたとしても、これまで除外されてきた東京の宿泊施設にとっては、同キャンペーンにより受けることのできる恩恵が他県の施設に較べ大きく下回ります。また、同キャンペーン終了が予想される時期から東京2020大会までの期間は、通常であれば花見などでかき入れ時にあたり、宿泊施設の経営にとって非常に重要な時期にあたります。ついては、同キャンペーン終了後に引き続き、東京が除外されていたのと同等の期間について、独自の支援を要望します。

4 宿泊施設の「G o T o トラベルキャンペーン」への登録等手続きに対する支援を要望します。

宿泊施設が「G o T o トラベルキャンペーン」に参加するにあたっては、複雑な手続きが必要となっており、体制が限られている小規模な事業者がやむを得ず登録を見送ることも想定されます。ついては、手続きに関するセミナーや専門家を派遣するなど、宿泊施設の負担軽減に向けた支援を要望します。